

令和4年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和5年7月

会計管理局 工事検査課

目 次

1 前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1) 勧告事項	
(2) 指摘事項	
(3) 監査意見	
(4) 決算審査意見	
2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3 職員の定員、現員調べ	1 頁
4 役付職員の調べ	1 頁
5 主な事業に関する調べ	2 頁
6 決算資料(総括表)	5 頁
7 事業別実施状況調べ	6 頁
8 予備費の充用調べ	6 頁
9 現金の取扱状況	6 頁
(1) 現金取扱状況	
(2) つり銭の状況	
10 財産に関する調べ	6 頁
(1) 公有財産	
(2) 金券類の保有状況	
(3) 基金	
(4) 債権	
11 財産の貸付け及び使用許可調べ	6 頁
(1) 土地及び建物	
(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
12 借受不動産明細調べ	6 頁
13 職員駐車場の管理状況調べ	6 頁
(1) 管理状況	
(2) 減免の考え方	
(3) 使用料の見直し	
14 寄附物件の受納状況調べ	6 頁
15 備品の処分状況調べ	6 頁
16 貸付金等状況調べ	6 頁
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
○ 意見、要望等	6 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 勧告事項 該当なし
- (2) 指摘事項 該当なし
- (3) 監査意見 該当なし
- (4) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	
定員	0	0	12	12	0	0	12	12	
現員	() 0	() 0	() 12	() 12	() 0	() 0	() 12	() 12	
過不足 (△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

4 役付職員の調べ

(令和5年7月1日現在)

職名		氏名	在職期間		備考
工事 検査 課	工事検査課長	横山 忠弘	年	月	工事検査課総括検査専門員から引き継ぎ、通算期間 1年3月 平成29年～令和元年に工事検査課に検査専門員として在職
	総括検査専門員	小屋 隆志	0	3	
	検査専門員	小林 勲	1	3	
	検査専門員	松田 秀和	1	3	
	検査専門員	西村 尚朋	2	3	
	検査専門員	奥羽 健司	1	3	
	検査専門員	山本 光一	0	3	米子工事検査事務所工事検査専門員から引き継ぎ、通算期間2年3か月
	課長補佐	(兼)伊藤 裕子	2	3	会計指導課課長補佐
米子 工事 検査 事務 所	米子工事検査事務所長 兼検査専門員	井上 武志	0	3	工事検査課検査専門員から引き継ぎ、通算期間 2年3月
	検査専門員	浦田 悦雄	2	3	
	検査専門員	日野 浩二	0	3	
	検査専門員	広坂 信秀	0	3	
	課長補佐	岡田 雅美	0	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
建設工事検査・評価事業	3,461	0	0	0	3,461
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略	大項目				
	中項目				
	小項目				
	SDGsゴール				
政策項目					

(建設工事検査事業)

1 事業の目的、概要

建設工事の品質を確保するため、各事業所管課からの報告に基づき、県が行う建設工事(県工事)、県費補助に係る建設工事(県費補助工事)及び市町村等から委託を受けた建設工事(市町村等工事)の検査を行うと共に、県が行う工事については原則として成績評定を行う。

2 事業の内容、実施の状況

当初請負対象設計金額が1,500万円以上(建築・設備工事にあつては1,000万円以上)の県工事、全ての県費補助工事及び市町村等工事の検査を専任検査員(工事検査課及び米子工事検査事務所の職員)が行い、また、それ以外の工事の検査を兼務検査員(本庁及び各総合事務所等の建設工事実施課の係長以上の職員)が行った。

なお、検査には次の3種類がある。

- ・中間検査…工事の適正な執行を確保するために行う検査
- ・完成検査…工事の完成を確認するために行う検査(指定部分の完成検査を含む)
- ・出来形検査…請負契約解除時において工事の出来形部分を確認するために行う検査

(1)専任検査員検査件数(11名)

(単位:件)

区分		農林	土木	建築	設備	合計
県工事	中間検査	30	210	47	34	321
	完成検査	43	626	55	98	822
	出来形検査	0	0	0	0	0
県費補助工事	中間検査	0	0	0	0	0
	完成検査	0	0	1	0	1
	出来形検査	0	0	0	0	0
市町村等工事	中間検査	0	1	0	1	2
	完成検査	0	12	0	0	12
	出来形検査	0	0	0	0	0
合計	中間検査	30	211	47	35	323
	完成検査	43	638	56	98	835
	出来形検査	0	0	0	0	0
合計		73	849	103	133	1,158

(※)1,158件には、応援検査員(年度末の検査の集中時期に臨時的に任命する兼務検査員62名)による検査198件を含む。

(2)兼務検査員検査件数(88名)

(単位:件)

区分		農林	土木	建築	設備	合計
県工事	中間検査	2	0	0	0	2
	完成検査	4	118	45	54	221
	出来形検査	1	0	0	0	1
市町村等工事	中間検査	0	0	0	0	0
	完成検査	0	2	0	0	2
	出来形検査	0	0	0	0	0
合計	中間検査	2	0	0	0	2
	完成検査	4	120	45	54	223
	出来形検査	1	0	0	0	1
合計		7	120	45	54	226

(※)中間検査は、当初請負設計対象金額が、2,000万円以上の工事について行うため、兼務検査員はこれを行わない。県工事(農林)の中間検査の2件は、指定部分の完成検査件数。

(3) 検査による修補、手直し及び工事成績に対する説明請求及び不服申立

①修補（設計図書等との不適合）

農林	土木	建築	設備	計
0件	0件	0件	0件	0件

②手直し（軽微な設計図書等との不適合）

農林	土木	建築	設備	計
0件	6件	0件	0件	6件

③説明請求

農林	土木	建築	設備	計
0件	16件	0件	0件	16件

④不服申立（成績評定に不満がある場合に受注者が行うもの）

農林	土木	建築	設備	計
0件	0件	0件	0件	0件

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 事業成果

工事成績評定要領の見直しにより判断基準がより明確化され、また、各種研修等により検査員の技術・技能を向上させることにより、検査の公平性の確保が図られた。

(2) 改善状況

「施工状況」、「品質」の評価対象項目について、各工種等の実施内容に即した分かり易い表現となるよう文言を追加・修正を行った。

例1 現行の考査項目別運用表で評定対象項目がより明確に実施内容に即した文言となるよう追加・修正。

※1: 工事記録写真等について、「不可視部分の出来形寸法が不足なく確認できるよう整理されている。」の文言を追加・修正。

※2: 品質について、評価対象項目の文言をより具体的に追加・修正。

※3: 品質について、外観検査の対象がJIS 製品を含む製品全般と分かるように記載を修正。

- ・様式土3-3(検査員)2. 施工状況 I. 施工管理 ※1
- ・様式土3-5(2)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 土工事(切土、盛土、堤防等工事) ※2
- ・様式土3-5(13)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 二次製品構造物、小型構造物 ※3
- ・様式土3-5(15)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 塗装工事 ※2
- ・様式土3-5(23)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 管水路工事(パイプライン)、畑かん工事、営農飲雑用水工事 ※2

例2 評価対象がより明確になるよう評価対象項目の括弧を追加

評価対象がより明確になるよう評価対象項目の括弧が2つ以上ある考査項目別運用表について、「その他」の括弧を追加。

- ・様式土3-5(3)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 護岸・根固・水制工事ブロック(石)積工(張工)
- ・様式土3-5(4)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 鋼橋工事(RC 床版工事はコンクリート橋工事に準ずる)及びその他鋼構造物[水管橋・水門・樋門工(扉体工)]
- ・様式土3-5(5)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)
- ・様式土3-5(6)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 舗装工事
- ・様式土3-5(10)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 法面工事(NO.3)
- ・様式土3-5(12)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 基礎工事及び地盤改良工事(NO.2)
- ・様式土3-5(18)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 植栽工事
- ・様式土3-5(20)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 港湾築造工事(浚渫海岸築造工事を含む)(NO.2)
- ・様式土3-5(21)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 ほ場整備工事
- ・様式土3-5(26)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 補強土壁工事
- ・様式土3-5(31)(検査員)3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 橋梁補強工事(橋脚巻き立て工)

例3 「創意工夫」「社会性等」「記入方法及び留意事項」の評定項目について、評価内容がより明確となるように追加・修正

規格値が設計値以上のばらつき評価及び平坦性の評価の考え方、評価する事項、評価しない事項を具体的に追記

※1: ICT 施工技術を活用した工事(LightICT 型)について、「実施項目数に応じて按分して加点する」ことを明記。

※2: 評価しないものを追記。

※3: 出来形のばらつきの考え方について、規格値が設計値以上のばらつき評価及び平坦性の評価内容の考え方を追記。

- ・様式土3-7②(検査員)5. 創意工夫 I. 創意工夫 ※1、※2
- ・様式土3-7③(検査員)6. 社会性等 I. 地域への貢献等 ※2
- ・様式土3-9【記入方法及び留意事項】《土木工事関係》 ※3

(3) 課題

検査員間の評定視点及び経験等の違いによる成績評定のバラツキを極力少なくし評価の統一性を図るため、引き続き現場に即した判断基準等の見直しを実施していく必要がある。

(公共事業評価事業)

1 事業の目的、概要

県が行う公共事業を鳥取県公共事業評価委員会に諮問し、客観的な評価を受けることにより、公共事業の効果的・効率的かつ適正な執行を図る。

2 事業の内容、実施の状況

委員会開催3回、 答申1回

(単位:件)

区分	諮問	答 申		
		継続・妥当	中止・妥当でない	継続審査・保留
事前評価	0			
再評価	3	3		

・事前評価: 新たに着手する事業計画の妥当性等について評価

・再評価: 着手後一定期間経過した事業の継続の適否等について評価

<対象事業>

- ・大規模特定河川事業(私都川)[八頭町]
- ・県営畑地帯装具整備事業(中山3期地区)[大山町]
- ・一般国道313号道路改築事業(北条倉吉道路(延伸))[北栄町]

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 事業成果

- ・公開の場で県民の視点に立って評価することにより、事業の内容等について透明性・客観性の向上に寄与した。
- ・事業の必要性にかかる説明責任を果たすことについて、事業課職員の更なる意識改善が図られた。

(2) 改善状況

評価対象事業への理解を深め、県民目線でよりの確に判断していただくため、新たに以下の改善等に取り組んだところである。

①用語集の作成等分かり易い資料作り

- ・県民視点の委員への分かり易い資料作りのため、事前配布資料に専門用語集を追加・修正すると共に、資料全般を出来る限り平易な表現とし、各委員が理解を深めていただくための一助とした。

②分かり易い説明

- ・担当課長が全てを説明するのではなく、現場を熟知している直接の担当者からも説明してもらうことで委員の事業に対する理解を深めていただき、審議が円滑に進行した。

③新型コロナウイルス感染拡大防止への取組

- ・委員会の開催に際し、各委員に対し事前に、マスク着用や消毒などへの協力をお願い文書を配布し、感染症予防対策の徹底を図るとともに、当日は、2週間以内に海外や県が独自に指定する感染に警戒する地域のうち特別感染警戒地域に行ったか等について、問診票への記載をお願いし、出席が可能であるかの事務局の判断材料とし感染拡大防止に努めた。
- ・平成4年度の知事への答申については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から答申文書の送付とした。

(3) 課題

特になし。

6 決算資料

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額					
歳入	雑入	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算現額			支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額		本庁	出納機関			
歳出	一般管理費	3,911,000	0	0	3,460,105	3,460,105	0	0	450,895	
	合計	3,911,000	0	0	3,460,105	3,460,105	0	0	450,895	

7 事業別実施状況調べ

(単位:円、%)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実 績・成果、 不用額の理由 等
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(一般管理費) (主)建設工事検 査・評価事業	3,911,000	0	0	0	3,911,000	3,460,105	0	450,895	88.5%	主な事業に関 する調べのと おり
合 計	3,911,000	0	0	0	3,911,000	3,460,105	0	450,895	88.5%	

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 現金の取扱状況

- (1) 現金取扱状況
- (2) つり銭の状況

該当なし
該当なし

10 財産に関する調べ

- (1) 公有財産
- (2) 金券類の保有状況
 - ア 金券の保有状況
 - イ タクシーチケットの保有状況

該当なし

有・無

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚 12	枚 0	枚 0	枚 12
		円	

- (3) 基金
- (4) 債権

該当なし
該当なし

11 財産の貸付け及び使用許可調べ

- (1) 土地及び建物
- (2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

該当なし
該当なし

12 借受不動産明細調べ

該当なし

13 職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 管理状況
- (2) 減免の考え方
- (3) 使用料の見直し

該当なし
該当なし
該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 備品の処分状況調べ

該当なし

16 貸付金等状況調べ

- (1) 総括表
- (2) 償還状況

該当なし
該当なし

○ 意見、要望等

- (1) 業務に関する要望等
- (2) 監査委員事務局に対する意見・要望等

なし
なし